

学校教育診断（2018年度 教職員）項目順

診断内容		A	B	C	D	A+B 2018
A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない						
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている	26.5%	52.9%	14.7%	5.9%	79.4%
2	各年度の教育計画の作成に当たって、教職員で話し合っている	17.6%	35.3%	41.2%	5.9%	52.9%
3	この学校の教育活動には、他の学校にない特色がある	47.1%	44.1%	8.8%	0.0%	91.2%
4	教育課程の編成に当たって、学習指導要領の趣旨が生かされている	15.2%	54.5%	24.2%	6.1%	69.7%
5	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている	17.6%	26.5%	47.1%	8.8%	44.1%
6	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の意見をよく聞き、願いに応えている	23.5%	55.9%	17.6%	2.9%	79.4%
7	年間の学習指導計画について各教科で話し合い、教材の精選・工夫を行っている	21.9%	40.6%	37.5%	0.0%	62.5%
8	思考力重視の問題解決学習やグループ学習、少人数指導を取り入れるなど、指導形態の工夫・改善に努めている	24.2%	48.5%	27.3%	0.0%	72.7%
9	指導内容や評価について、他の教科の担当者と話し合う機会がある	12.5%	34.4%	43.8%	9.4%	46.9%
10	この学校では創意工夫を生かした総合的な学習の時間を実施している	33.3%	54.5%	9.1%	3.0%	87.9%
11	生徒の実態をふまえ、学習指導の方法や内容について、工夫・改善を行っている	27.3%	63.6%	6.1%	3.0%	90.9%
12	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている	18.2%	51.5%	27.3%	3.0%	69.7%
13	問題行動防止のための早期指導に全体で取り組み、問題行動が起きた時には組織的に対応している	20.6%	41.2%	26.5%	11.8%	61.8%
14	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる	35.3%	50.0%	14.7%	0.0%	85.3%
15	生徒指導において、家庭および警察・子ども家庭センター等の諸機関との連携ができています	30.3%	48.5%	18.2%	3.0%	78.8%
16	校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるか、生徒や教職員の間で話し合う機会がある	20.6%	29.4%	44.1%	5.9%	50.0%
17	生徒が望ましい勤労観、職業観をもつことができるよう、体系的なキャリア教育を行っている	32.4%	44.1%	14.7%	8.8%	76.5%
18	生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている	26.5%	41.2%	32.4%	0.0%	67.6%
19	この学校は、奨学金教育等を活用して奨学金制度等について指導している	52.9%	44.1%	2.9%	0.0%	97.1%
20	ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる	36.4%	39.4%	21.2%	3.0%	75.8%
21	学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている	18.2%	54.5%	15.2%	12.1%	72.7%
22	生徒会活動を通じて、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している	20.6%	50.0%	23.5%	5.9%	70.6%
23	学校として、部活動の活性化について工夫している	5.9%	32.4%	47.1%	14.7%	38.2%
24	学校として、読書指導に積極的に取り組んでおり、図書館が生徒に活用されている	3.1%	15.6%	56.3%	25.0%	18.8%
25	この学校は、情報リテラシーや情報モラルを高める教育に取り組んでいる	15.6%	50.0%	31.3%	3.1%	65.6%
26	教育活動において、社会規範を守る意識を育み、命の大切さについて学ぶ機会をつくるようにしている	21.2%	63.6%	9.1%	6.1%	84.8%
27	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法について、全教職員で話し合っている	32.4%	41.2%	20.6%	5.9%	73.5%
28	同和問題への正しい理解や在日外国人に対する偏見のない社会をめざし、主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している	39.4%	42.4%	15.2%	3.0%	81.8%
29	学校として、在籍している外国から来た生徒に対し、教育委員会事業や学校独自の取り組みなどで支援する体制がある	51.5%	39.4%	6.1%	3.0%	90.9%
30	ノーマライゼーションの理念や男女共生意識に基づく社会を築く資質を養えるよう工夫している	35.3%	44.1%	17.6%	2.9%	79.4%
31	環境・国際理解・福祉ボランティアなど現代的な教育課題を教育活動に積極的に取り入れている	32.4%	61.8%	2.9%	2.9%	94.1%
32	体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止など人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている	38.2%	47.1%	14.7%	0.0%	85.3%
33	中期的な目標を踏まえ課題を明確にした「学校経営計画」を策定し、PDCAサイクルによる学校経営を推進している	11.8%	35.3%	44.1%	8.8%	47.1%
34	校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している	14.7%	55.9%	17.6%	11.8%	70.6%
35	学校運営に教職員の意見が反映され、教職員が意欲的に取り組める環境にある	8.8%	20.6%	47.1%	23.5%	29.4%
36	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、問題意識などについて相談し合える人間関係ができています	9.1%	27.3%	45.5%	18.2%	36.4%
37	各種会議が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能し、教育活動や学校運営に生かされている	5.9%	23.5%	44.1%	26.5%	29.4%
38	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている	9.1%	30.3%	39.4%	21.2%	39.4%
39	この職場においては、教職員の服務規程への自覚が高い	15.2%	42.4%	33.3%	9.1%	57.6%
40	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている	17.6%	38.2%	26.5%	17.6%	55.9%
41	学校予算は一定のルールに基づき、適切に編成・執行されている	27.3%	60.6%	6.1%	6.1%	87.9%
42	この学校では、生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている	8.8%	29.4%	52.9%	8.8%	38.2%
43	清掃がいきとどいている	14.7%	35.3%	35.3%	14.7%	50.0%
44	施設・設備は日常的に点検や管理が行われおり、拡充については長期的見通しに立って計画されている	11.8%	61.8%	20.6%	5.9%	73.5%
45	各教科の備品や教材教具、コンピュータ等の情報機器が活用されている	21.2%	54.5%	21.2%	3.0%	75.8%
46	校内研修は計画的に実施されており、教育実践に役立つような内容となっている	21.2%	60.6%	12.1%	6.1%	81.8%
47	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている	21.2%	33.3%	30.3%	15.2%	54.5%
48	他の教員の授業を見学したり、授業方法等について検討したりする機会を持っている	36.4%	39.4%	21.2%	3.0%	75.8%
49	研修・研究に計画的に参加する体制が整っており、参加した成果を他の教職員に伝える機会が設けられている	15.2%	39.4%	36.4%	9.1%	54.5%
50	公文書や生徒個人情報に関する管理がなされている	11.8%	44.1%	26.5%	17.6%	55.9%
51	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている	20.6%	64.7%	8.8%	5.9%	85.3%
52	情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている	38.2%	41.2%	14.7%	5.9%	79.4%
53	保護者や地域の人々と接する機会を設けている	23.5%	58.8%	14.7%	2.9%	82.4%
54	教職員はPTA活動に参加している	11.8%	32.4%	52.9%	2.9%	44.1%
55	支援学校や近隣の学校などとの校種間連携の機会を設け、教育活動全般に生かしている	29.4%	44.1%	14.7%	11.8%	73.5%